

令和 7 年度 学校評価書 ( 計画段階 )

福岡県立

早良

高等学校

50

スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)	幸せな社会人として生きていく力を育む学校 個に応じた教育活動を展開し、生徒のニーズに丁寧に応えることで、一人一人の資質・能力を最大限に引き出すとともに、地域への貢献活動を通して、豊かな心を持ち、主体的に多様な人々と協働して地域社会で活躍する人材を育成します。	
スクール・ポリシー (三つの方針)	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者への思いやりと優しさをもち、謙虚さと感謝の気持ちを大切に育む心育成する。</li> <li>・希望する進路を実現するための基礎学力を育成する。</li> <li>・社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力を育成する。</li> <li>・新しいことに積極的にチャレンジする精神を育成し、試行錯誤と成功体験の積み重ねにより自尊心と自己肯定感の向上に繋げる。</li> <li>・リーダーシップを発揮し、集団をまとめることができる力を育成する。(スポーツコミュニケーションコース)</li> </ul>
	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業と学習評価の実施</li> <li>・個々の生徒の実態とニーズに応じた指導と支援の充実</li> <li>・地域と連携したキャリア教育の推進</li> <li>・学校行事や部活動、地域活動における主体性・協働性・課題解決力の育成</li> <li>・スポーツコミュニケーションコースにおける充実したスポーツ実習や地域貢献活動の実施</li> </ul>
	アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活態度が身についている人</li> <li>・生活態度が真面目で、授業や学校行事等に真面目に、かつ積極的に取り組む人</li> <li>・運動部に入学し、粘り強く競技力向上に取り組む人(スポーツコミュニケーションコース)</li> </ul>

学校運営計画(4月)

学校運営方針	教育基本法、福岡県教育大綱及び福岡県教育施策実施計画を踏まえ、社会的自立の基盤となる学力、体力、豊かな心を培うとともに、社会を支え、地域に貢献する力を育成する。		評価 (総合)	
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標		
・生徒募集では定員を満たすことができなかったが前年度より改善が見られた。次年度は、広報活動をより推進するとともに、早良フェスタ(体験入学)のブラッシュアップを行い、確実な生徒募集に繋げる。 ・安心安全な学校生活については学校生活満足度調査の結果から一定の成果が確認できた。次年度は、生徒支援コーディネーターを中心とし、SC、SSW、特別支援教育支援員、養護教諭が相互に連携した支援体制の更なる構築を図る。また、自転車通学者のヘルメット着用を含めた交通安全・マナー指導の徹底を図る。 ・特進プロジェクトによる戦略会議により、前年度を上回る希望大学の合格者を出すことができた。次年度は、資格取得セミナーの参加者を増やし、進路選択の可能性を高めるとともに、個に応じた効果的な指導を行っていく。 ・地域清掃活動やボランティア活動への参加により生徒の自己肯定感を高めることができた。次年度も活動への参加を促し、自尊心を高める様々な取組を通して、身だしなみを意識したり、自己の健康管理にも関心を持つ生徒の育成を目指す。 ・スポーツ教室や合同練習会等を実施することにより、近隣の中学校のスポコミ認知度も上がりつつある。昨年度以上に、スポーツ教室や合同練習会等を行うとともに、部員による出身校の部活動への近況報告等を行うことにより、スポコミの魅力を発信し、生徒募集に繋げる。 ・本校における教育活動の実際を、学校訪問やマスメディア、Web等を活用しあらゆる方面から中学生と保護者、地域へ効果的に発信し生徒募集に繋げる。	創立40周年を機に生徒と教職員がともに「地域と共にある学校づくり」に向けた決意を新たにし、一層の学校活性化を図る。  人権教育と心の教育を推進し、いじめ、差別、暴力を絶対に許さない安心安全な学校づくりに努める。  主体的に学ぶ意欲の向上と学習の基礎・基本の定着を図る。  本校の教育活動の魅力を積極的に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域に対する愛情と誇りを育む働きかけ</li> <li>・地域と連携した取組の充実</li> <li>・日常的な声かけ、対話、称賛、望ましい行動への働きかけ</li> <li>・規範意識や社会性の一層の醸成</li> <li>・人権感覚に裏打ちされた情報活用能力の育成</li> <li>・ICTの効果的な活用</li> <li>・「早良リンクス」(学び直しのための学校設定教科)の充実</li> <li>・一人ひとりの力を伸ばすための学習評価の工夫改善</li> <li>・進路実現に向けたガイダンスや個別指導の充実</li> <li>・生徒の活躍をより広く知ってもらうための情報発信</li> </ul>		
評価項目	具体的目標	具体的方策		生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等
教務部	生徒の学ぶ意欲と学力の向上 (授業アンケート満足度90%「4はい」と「3どちらかといえばはい」の合計)	昨年度までの授業改善を継続しつつ、令和7年度は「早良リンクス」の検証と見直しを行うことにより、生徒の授業満足度・学力向上につなげる。また、スタディサプリ・Classiを効果的に運用していく。		生徒対象授業アンケート
	教員の業務効率向上のための校務支援システム習熟度の引き上げ	より多くの教員の「校務支援システム」に関する習熟度を引き上げ、一層の業務効率化を目指す。研修・実習等を適宜行い、的確かつ効果的にシステムを使用できる教員を増やす。	職員対象アンケート	
	令和7年度志願者数の増加 (志願倍率1.00倍以上)	早良フェスタ(体験入学)については活性化推進室と連携し、内容の見直しを行う。特にスポーツコミュニケーションコースの魅力発信に重点を置き、同コースの良さを中学生・保護者により伝えるような企画を組み込む。これにより早良フェスタ参加生徒の志願率60%以上を目指し、令和8年度全体志願者数の増加につなげる。	早良フェスタにおける生徒・保護者アンケート	
生徒部 指導課 保健課 支援課	安心安全な学校づくり 規則・マナー遵守の指導	生徒部と学年団との情報共有を毎週の生徒部会で行い、生徒の人権や尊厳が大切にされているかについて確認する。また、支援課と連携し「いじめ見逃し0」を職員全体で遂行する。  職員全員が共通認識の下、一丸となり実施して生徒自身が規則を守る意識を向上させる。また、講演会や部長講話、学年集会など機会があるごとに交通関係を含めたマナーについて話し、マナーを大切にすることを育成する。	生徒対象アンケート	
	校内美化の更なる推進 健康管理や安全管理の徹底 と公共物を大切にすることを意識の向上	通常清掃や大掃除などにより、教室環境を整備し、校内美化に努める。また、整美委員会を中心にごみの減量に取り組むとともに、リサイクルを推進する。  健康診断等を通して、心身の健康に関心を持つとともに、安全管理の意識を向上させる。また、保健委員や整美委員会を中心として、公共物を大切にすることを意識を向上させる。	生徒対象アンケート	
	いじめ問題の未然防止及び早期 発見と適切な対応 支援を必要とする生徒への組織 的な対応	担任、学年からの情報収集や月1回の学校生活アンケート・スマイルアンケート・いじめアンケート等により、支援や指導が必要な生徒を早期発見し、早期解決を図るために組織的な対応を行う。また必要に応じて、SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)、特別支援教育支援員の面談につなぐ。  年度当初に、支援を必要とする生徒に関して全職員で情報共有し、年間を通して組織的かつ継続的に対応する。また教務部と連携し、学習面で特に支援を必要とする生徒に対しては、特別支援教育支援員に学習支援を依頼するなど、適切な対応を行う。	学校生活アンケート、スマイルアンケート、いじめアンケート、家庭用チェックリスト、相談ポスト	

様式3

進路部	進路指導の成果と課題を可視化する。	進路希望調査(年2回)や外部模試の分析を確実に行う。進路学習については、進路指導目標と計画を学年ごとに策定、進路実現のための段階を生徒に明示するとともに、その進捗状況も学年と確認し、共有する。	進路希望用紙、進路指導計画表	
	学校満足度調査の「進路指導」の項目において、全学年満足傾向90%以上を維持する。	生徒の状況に合わせた進路指導を継続的に実施する。また、外部模試の事前・事後指導を学年と協力して実施する。さらに、教務部と連携してスタディサプリ・Classiを活用した学力慎重を図る。	学校満足度調査の「進路指導」の項目	
	セミナーの受講者数を一定数確保する。	資格取得セミナーの受講者数を、各講座あたり15名を目標として受講者を募る。今年度より校内受験者に対しては講座の受講を条件とする。3年生の進学セミナーについては、年度の早い段階から開始し、2学年についても年度後半より実施する。	資格取得セミナーの受講者数、進学セミナーの開始時期	
1学年	生徒や保護者との関わりを丁寧に行い信頼関係の構築に努める。	・生徒、保護者、教員が感じる困り感について、支援課を中心とするSC、SSW、特別支援教育支援員と「連携を取り、個に応じた対応について共有する。	・生徒部(支援課)アンケート	
	ボランティア精神や資格取得の意識を育み、積極的に行動する生徒を育成する。	・年間で2,000件以上のGWP(GoogWillPerson:善行奨励カード)を発行する。 ・ボランティア参加者を年間延べ200人以上にする。 ・検定試験の受験者数を年間50人以上にする。	・GWPの発行枚数 ・ボランティア活動の参加生徒数 ・検定試験の受験者数	
	「学び直し」と進路関連行事により学習意欲と進路意識の向上に繋げる。	・中学校までに学習した内容をリンクスで学び直すことで、基礎基本の定着を図る。 ・進路行事を活用して生徒の職業観を養い探究心を深める。	・授業アンケート ・学校満足度調査	
2学年	先輩としての自覚を促し、1年生にとって模範となる意識を持てるようにする。	1日あたりの出席率97%以上、遅刻者率4.0%以下を目指す。	GWPの発行枚数	
		挨拶、礼儀、言葉遣い、時間厳守の指導を徹底する。		
		1人1回以上の善行表彰を行い、1000件以上認める。		
	「わかる授業」と進路関連行事により学習意欲と進路意識の向上に繋げる。学校や教員との信頼関係を良好にして、学校生活のすべてに前向きな生徒を増やす。	授業アンケートの「授業が楽しい、分かりやすい」傾向を95%以上にする。	生徒対象授業アンケート、資格取得セミナーの受講者数	
		資格取得セミナーの受講者数延べ150人を目指す。		
		担任、SC等の面談を活用し、生徒と保護者との連携をとる。		
学校行事等を通して生徒が役割を担い、生徒のあらゆる力を引き出して個性を伸ばす機会を作る。	各行事で役割を与え、リーダーシップとフォロワーシップの育成を図る。	ボランティア活動の参加生徒数		
	ボランティア参加者を250名以上とし、社会性を向上させる。			
	学期ごとに目標を考えさせて、意欲的に学校生活を送れるようにする。			
3学年	卒業後の姿を見据えて、行動の基準を社会人として生徒への指導・対応を行う。	社会人の基礎である、挨拶、礼儀、言葉遣い、時間厳守を意識させる。	授業巡回、出欠統計、記録	
		1日あたりの出席率95%以上、遅刻者率6.0%以下を目指す。		
		ボランティア参加者の延べ人数250名を目指す。		
	生徒の学習意欲を高めて学習態度と学力定着を良好にする。学校行事に積極的な生徒を増やし、生徒の力を育む。	授業アンケートの「授業が楽しい」「授業が分かりやすい」傾向95%以上を目指す。	授業アンケート、授業巡回	
		授業開始時に服装や机を整理することを100%とする。		
		学校行事ごとに生徒の意見を集約し、取り入れる。生徒に様々な役割を与え、積極的に関わる機会を作る。		
就職内定や大学進学など、希望進路達成率をあげる。支援課との連携を図り、個に応じた進路指導を行う。	就職希望者に対して職場見学を課し、就職1次試験内定率90%以上を目指す。	資格取得セミナー、面談		
	資格取得セミナー受講者数延べ50人以上、合格率80%以上を目指す。 SCを中心とする面談を通して、学年、支援課、家庭との連携を図る。			
スポーツコミュニケーションコース	本コースの志願倍率1.0倍以上を目指す。	中学校訪問を、5～6月、10～11月の2期に分けて実施する。	早良フェスタにおける生徒・保護者アンケート	
		各強化指定部活動ごとに、中学生向けのスポーツ教室や訪問指導を実施する。		
	本コースの特色ある活動を通して、地域に愛される集団を育成する。	多様な実習等を実施し、本コースの特色をより魅力的なものにする。	関係団体・近隣小学校・地域へのアンケート	
		小学校での体カテスト補助やオイスカ西日本研修センターでの地域貢献実習を通して、地域に愛される人材を育成する。		
外部機関との連携を強化し、生徒の進路意識を向上させる。	1・2年生の早期から上級学校訪問や出前指導を実施する。	スポーツコミュニケーションコース生徒アンケート		
	アダプティッドスポーツ実習を上級学校との協力体制で実施し、より効果的な実習とする。			
活性化推進室	令和8年度志願者数の増加	デザイン刷新を目的とした学校案内作成の外部委託	早良フェスタにおける生徒・保護者アンケート	
		学校の特色を知らせるためのチラシの作成		
		学校の「魅力」を中学校・保護者にPRするためのポスター掲示		
	広報活動の強化	体験入学(2回)の実施、夜の学校説明会(3回)の実施	早良フェスタ・夜の学校説明会参加者数、早良フェスタにおける生徒・保護者アンケート、HP・インスタのアクセス・登録者数	
中学校(8回)や塾(2回)への定期的訪問 学校HP、インスタグラム(行事実施直後)の効果的な活用				
スポコミプロジェクト	スポコミの認知度の向上	スポコミ活性化チームを設置し、スポコミ調査の分析や広報戦略を練る	早良フェスタにおける生徒・保護者アンケート、中学1・2年生対象のスポコミ調査	
		部活動生徒による出身中学校への訪問		
強化部活動の活性化		部活動生徒による出身中学校への訪問	早良フェスタにおける生徒・保護者アンケート、中学1・2年生対象のスポコミ調査	
		部活動単位でのスポーツ教室等の実施		